

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政活動報告>

第52号

2005年12月15日

一月刊



古川なおきレポート

古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

子どもたちを守ろう！

皆様お元気ですか？さて、早いもので今年最後のレポートになってしまいました。今年も様々なことがありましたが、ご承知のように最近児童が下校時に殺害されるといった傷ましい事件が多発しています。横浜市でも教育委員会が「児童生徒の通学安全等にかかる緊急対策について」各学校長に通知を出しました。主に通学路等の緊急安全点検や児童生徒に対する防犯教育を徹底するといった内容ですが、あらためて対策を見直さなければならないと思います。まず比較的朝の人通りが多い登校時よりも下校時の対策が重要です。児童（特に低学年）には集団登下校を徹底することや保護者のお迎えもできる方には行っていただきたいと思います。また、生徒一人一人の通学路を、保護者も学校もしっかりと把握して最終的に一人になってしまう場所なども確認する必要があります。以前から地域の犯罪が発生しやすい人通りが少ない場所などを事前に調べて地域の地図（安全マップ）を作るなどの取り組みを行っている学校もありますが、こうした対策は全校で行うべきだと思います。（旭区では区作り推進費で数校は対応しています）そして、下校時に合わせて地域の方々に家の外に出て子どもたちを見守っていただくことができれば、犯罪の抑止に効果的だと思われます。善部小学校では自治会をはじめ地域の方々が中心となり、児童の下校時間になると黄色いジャンパーを着たボランティアの方々が通学路に立ったり

散歩をしたりして、一斉に外に出て来られます。私も、現場でその様子を見させていただきましたが、平日の15時ごろは住宅街でも人通りが少なく、歩いているのは子どもと高齢者の方がほとんどですから、犯人に車等を利用されれば、容易に犯罪が起きやすい状況にあることを再認識させられました。横浜市では消防車が下校時に巡回パトロールを実施していますが、今後は、港北区のように土木事務所の黄色い車で下校時間に道路パトロールを行うことも効果があると考え、早速、市民局や早瀬直樹旭区長に要望しました。

いずれにしても、子どもたちの安全は保護者や学校や警察だけでなく、地域皆で守っていく意識が必要だと思います。昔は地域のコミュニティーがしっかりとっていて、あの子どもはどこの子どもと皆がわかっていたのですが、今は時代も変わり隣に誰が住んでいるのかわからない地域も多くなってきました。だからこそ、これからは保護者、学校、地域が一体となって子どもたちを守るために取り組まなければならないと思います。現在開会中の市会でもこの問題を取り上げ、議論したいと思います。ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。悪いニュースが多い昨今ではありますが、来年は皆様にとって良い年になりますことをご祈念いたします。一年間ご愛読いただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。

12月16日横浜市市民教育委員会にて、古川なおきが「子どもの安全確保対策強化を国に求める意見書」を提案しました。22日の本会議で採決されます。（横浜市会ホームページをご覧ください）

横浜市議員 古川 直季

子どもの安全に対する他都市の例

※資料提供：横浜市教育委員会

自治体名	内 容
東京都	東京都青少年・治安対策本部、教育庁、警視庁と「子どもの安全に関する緊急連絡会議」発足。 当面の対策として、 ①小学校区単位で通学路をパトロールするボランティア組織を発足させる。 ②通学路の危険な場所を子どもたち自らが地図に描く「地域安全マップ」作りを授業に取り入れる。 ③地域で走り回る庁用車や民間のトラックに防犯ステッカーを貼る、の3点を打ち出す。
大阪府	大阪府、大阪市、立命館大学が共同で実験 街角の自動販売機にセンサー設置し、2種類のICタグで実験 来年2月20日から1ヶ月間のみ実施（10カ所、半径30メートル以内で感知、児童100人参加）
川崎市	安全・安心なまちづくりのために、公用車1026台に「防犯パトロール実施中」のステッカーを貼り市内を巡回。 安全マップの小学校での作成 郵便局との提携（12月9日）
新潟県加茂市	バス24台で、市内7小学校、5中学校でスクールバス通学実施。

古川直季の質問が新聞に掲載されました！

【神奈川新聞2005年11月16日（水）地域面】

安全な街へ

横浜市は十五日、地域の防犯力の向上を目指す「よこはま安全・安心プラン」を策定した。「防犯マップ」作りなど、各地で展開している防犯活動の実践例などを紹介し、地域での自主的な取り組みを呼び掛ける。同プランは、同市初の防犯の基本計画となる。市内の刑法犯認知件数の増加や防犯に対する市民の関心の高まりを受け策定した。早急に取り組むため、計画期間を二〇〇五年度から〇七年度の三年間と短期間に設定したのが特徴。「犯罪に強く

地域の防犯力向上へ

305年度から
横濱市がプラン策定

快適な地域をつくる」な目標を掲げ、犯罪率の継続的な減少や犯罪に対する市民の不安軽減を目指す。地域で防犯を進める取り組みとしては、窃盗や振り込み詐欺、子供の連れ去りなど市民生活に身近な犯罪を防ぐ方策として、「防犯マップ」の作成を提案。パトロールに活用するだけでなく、定期的に巡回して環境の改善状況をチェックしている地域があることにも触れた。また、警察からの情報を基に「お知らせ板」のような「情報発信源」を地域に設けることも提案。ホームページ（HP）やメールマガジンを活用

同日開かれた市会市民教育委員会では、古川直季氏（旭区）は「意識啓発には、身近な地域で犯罪発生状況などを知らせることが必要だ」と述べ、HPの充実などを求めた。

市の今後の取り組みについて田中克子市民局長は「車上狙いの効果的な対策など分野ごとのマニュアルを作りたい」と述べた。

報を発信している例も踏まえ、意識啓発の重要性も紹介した。

市内の犯罪発生状況についてのデータなども掲載している。

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 37才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選(26才)
 平成17年度市民教育常任委員会委員
 同 大都市行財政制度特別委員会委員長
 自民党横浜市支部連合会青年局長
 横浜青年会議所(JC)

明治大学大学院在学中！

日本動物福祉協会横浜支部支部長
 鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
 旭区スポーツダンス協会顧問
 旭区サッカー協会顧問
 学校法人 八洲学園 理事
 NPO法人スクール・エイド・ジャパン理事
 卓球本間クラブ所属

横浜市コールセンター

電話 664-2525
 FAX 664-2828

午前8時～午後9時（土日祝日を含む毎日）

元旦も営業します！

横浜市のことでご質問があればお気軽にご利用ください。